

EGOTAN通信

— 江古田小学校 研究便り —

令和2年11月27日
中野区立江古田小学校
研究推進委員会
第2号



研究主題

外国語を通して、すすんでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

第2回 研究授業報告 ～11月20日(金)～

第6学年 外国語科 Unit 6 Let's think about our food. 授業者：伊佐 和宏
講師：玉川大学教職大学院 名誉教授 佐藤 久美子先生

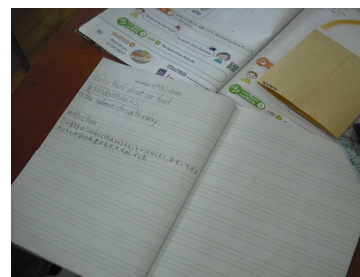
【本時のねらい】

- ・食べ物とその産地について伝えよう。

【授業のポイント】

“Our dream school lunch” を単元の最終目標とし、そのために自分が興味をもって食材の産地を調べ、伝え合う活動をした。食材カードを作成し、そのカードを交換して伝え合うことで「自分のことをすすんで表現することができる児童」「相手のことを理解しようとする児童」の育成を目指している。日頃から書く活動にも取り組みながら、英語に親しみ、楽しんで自然なやり取りができるようにしている。

【授業の様子】



【児童の様子】

- ・カードを交換することで、自分が選んだ食材やその産地以外の言い方にも触れ、すすんで友だちとやり取りする姿が見られた。
- ・ミニトークにうまく取り組めない児童も、提示されたデモンストレーションの例を見ながら楽しんで活動することができた。

【講師の佐藤先生より】

カードを活用してのミニトークは、児童の意欲向上につながり、食材や産地への興味を広げていくことができていた。正しくカードに書かせること、食材や産地を正しく発音するために全体で練習してから自信をもって取り組ませること等、丁寧に学習を進めていくことも大切である。外国語科における言語活動を「自分の思いを伝え、相手の思いを聞くこと」と捉えているので、その場に合わせた友だちとのミニトークは学びにつながっている。単元の最終目標が“Our dream school lunch”を栄養士にプレゼンテーションすることなので、必然的に今後の学習につなげていくことができる。カードの活用の工夫、デモンストレーションの提示の仕方が本時のねらいを達成することにつながっていた。

今年度から新しい教科の研究となり、教員も学ぶべきことがたくさんあります。御指導いただいたことを生かして、授業力向上に努めていきます。



EGOTAN